



# 県の大事な仕事は 命・安全を守ること

## この願いを訴えました

### 2月議会討論

2月定例千葉県議会の討論で、日本共産党・加藤英雄県議は2023年度予算について「住民福祉の増進」という自治体の役割を最大限発揮し、県民の命と安全を守りぬくものに！と主張しました。

県政のゆがみを厳しく指摘

### これでいいのか 交通安全対策

#### 信号機の新設 わずか13基・既存道路分は1基



2023年度、信号機新設は前年度より1基増え、13基に。そのうち、12基は新設道路への設置が予定され、なんと既存道路は1基だけです。20年を経過した信号機が2875基、3分の1にのぼり、毎年300を超える設置要望がだされています。「必要な信号機の新設、更新の予算の大幅増額」を求めました。

### 鳥インフルエンザ 2022年度63万羽

#### こともあろうに 3つの家畜保健衛生所を統廃合

畜産農家を直撃し、タマゴの値上げの要因の一つになっている鳥インフルエンザ。県内では2022年度63万羽、2020年度は458万羽です。県は、防疫の第一線に立つ東部、北部、中央佐倉庁舎の3つの家畜保健衛生所を統廃合しようとしています。「防疫体制の強化・拡充が求められているときに、やることがさかさまだ」と批判しました。



### 身近な生活道路・通学路の整備 不満4割

#### 803億円も費やすけど、県民が望む道路なのか

道路ネットワーク事業に通年でおよそ803億円。破格の予算です。「県政に関する世論調査」では、約4割が身近な道路整備に不満です。生活道路、歩道、通学路などの整備、安全対策を最前線になう土木事務所の道路維持管理にかかわる予算は、要望額の7割程度しか予算措置されていません。道路維持予算は要望額の半分。巨大道路優先では県民の願いにこたえ、安全な街づくりをすすめることはできません。



みわ由美  
(松戸市)



加藤英雄  
(柏市)

日本共産党

Japanese Communist Party

日本共産党千葉県議会だより 2023年3月27日号 連絡先 043(223)2544